平成30年度　特別研究推進費実績報告書

2019 年4月26日

北九州市立大学長　様

（所属・職名）　外国語学部・准教授

（氏名）　齊藤　園子

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	19世紀中葉のローマにおける女性芸術家の位置付けに関する実態調査
実施内容・研究成果の要旨（概要書を別途添付）	本研究は19世紀にイタリアのローマに渡ったアメリカ人のうち、特に女性芸術家の位置付けを調査することを目指したものである。18世紀から19世紀にかけては、多くのアメリカ人芸術家（彫刻家、画家、文筆家）が、芸術活動の修練を目的としてローマに渡った。現地でアメリカ人が独自のコミュニティを形成して活動している様子は、同時代のアメリカ人作家の作品にも描き込まれている。作品には、男性芸術家のみならず女性芸術家も登場するが、性別を特定した上で芸術家を登場させている場合のそれぞれの位置付けは異なるように思われる。実態としても、男性芸術家と女性芸術家の現地における経験は異なるものだったようである。実際にローマに渡った女性芸術家には、新しい女性像の確立に寄与した功績が認められている者も多く、本研究はその実態のさらなる調査を目指した。実際の活動拠点や文学作品に登場する場所の位置関係の特定を進めながら作品研究を行った。本研究成果に関する未発表の内容については、2019年度に国内外の研究集会において発表するが、同時に発展的な研究を推進していく予定である。

事項	合計	使用内訳（単位：千円）				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	621					
支出金額	606	0	78	89	55	384
執行残額	15					

共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等